



ファミリア通信 第6号

医療法人天公会 石狩ファミリアホスピタル



ごあいさつ

私が石狩ファミリアホスピタルの院長に就任してもうすぐ一年になろうとしています。当院は認知症を中心とした高齢者への対応に力を入れてきましたが、この度、本年10月より児童精神科を標榜することになりました。私は以前勤務していた病院で一般精神科の治療と並行して児童思春期の専門外来および児童思春期の症例が入院する病棟を担当させていただきました。入院症例においては小学生から高校生まで幅広い子供達の治療にあたりました。当院でもこの経験を活かしたいと考えていたのですが、今回ようやく願いが叶いました。これからは、石狩ファミリアホスピタルを子供から高齢者まで患者様の人生を通して寄り添える病院として新たに築き上げていきたいと考えていますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

病院長 押部 弘

退職の挨拶

12月に退職される熊谷福夫先生から、挨拶がございます。

『病院を懐古して』

石狩市に熊谷病院を開院して40年を超す歳月が流れてしまいました。昭和55年11月の開院。職員、入院患者各30数名でのスタートでした。開院2年間は病院に連日当直の毎日でした。自然環境に恵まれ、一歩出れば市の運動場、発寒川沿いには手稲山を遠くに仰ぐ散策路があり、恰好のウォーキング・ジョギングコースであり、患者さんとの朝の楽しいひとときでした。其の後、生活療法棟を併設して「アスクレピオン」と命名しました。当初より薬物療法のみならず、患者さんの自己治癒力、自己回復力を引き出すべく種々の生活療法を実践、展開していました。また様々な運動療法、音楽療法、動物介在療法、シュルツの自律訓練法、西野流呼吸法、原生林散策、野外食、サクランボ狩り、農耕、陶芸を実施してきました。患者さん、その御家族、職員、市民の皆さんと一体となり貴重な交流が出来た事をしみじみと振り返っています。皆様との出会いを深謝し石狩ファミリアホスピタルが当地の医療施設としてさらに進展されんことを。



敬老会(認知症治療病棟)

コロナウィルス感染対策として、午前・午後の2回に分けて「敬老会」を行いました。

今年は、

白寿 99歳 1名

卒寿 90歳 3名

米寿 88歳 1名

傘寿 80歳 1名

古希 70歳 1名

合計7名のお祝いをし、賞状とお祝い品を贈呈しました。

他にも、患者さんにマラカスなどの楽器を渡し、リズムに合わせた動きを一緒に取り組むことや、職員3名によるバンド演奏も行いました！改めまして、おめでとうございます！



★風船や道具を使ってリハビリ(作業療法)★

当院の認知症治療病棟で実施をしている『レクリエーション』を紹介します♡



↑玩具のお金つかみや、ボールの大小を使ったゲーム、マジックハンドやうちわも使用します↑
ゲームを通して体を動かす、楽しむ体験、達成感、自信の回復などを目的に実施しています。
指や腕、足の動きや力の加減などを考えて、ゲームを立案しています。

併せて『風船バレー』も実施していますが、患者様の楽しそうな表情を見ることや、風船を通して、患者様とコミュニケーションをとることが出来ます。

※現在はコロナウィルス感染防止のため、参加メンバーを分散して実施しています。

作業療法では小さなことから焦らずコツコツと！楽しみながらできることを増やし、みなさまの生活を取り戻すお手伝いをしています！！

部門紹介 薬局

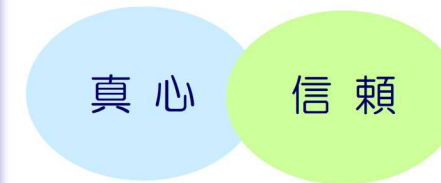
薬局は受付の奥にあり、外来・入院両方の患者様の薬を調剤しています。

薬には内服・外用・注射があります。薬剤師は医師が発行した処方箋に基づき、調剤を行います。しかし、薬剤師は処方内容にそって機械的に薬を用意しているわけではありません。患者様の薬の服用歴やアレルギー歴など、あらゆる観点から処方箋をチェックし、患者様の生命や健康上のリスクの発生について未然に防ぐ役割を担っています。「処方箋中に疑わしい点がある場合は確認せず調剤してはならない」と薬剤師法で定められており、投与量、投与方法、重複投与、相互作用など問題がないことを確認してから調剤し、お薬をお渡ししています。

内服薬は服薬しやすいように「一包化調剤」(ワンドーズパッケージ)を行い、複数の薬でも服用時点毎に飲みやすくしています。1日3回毎食後に就寝前、毎回きちんと薬を飲むことは容易なことではありません。お薬によっては1日1回のものや、統合失調症の患者様には、1回の投与で2週間、4週間、3か月と効果が長く続く注射「LAI(持続性注射剤)」もあります。飲み忘れなど先生には言いにくいのですが、正直に話して下さらないと、薬の効果がでていないと心配され、量が増え、結局効き過ぎたり、反対に副作用がでたりということにもなりかねません。無理なく服薬を続けるため、ご自分に合った服用方法を先生とご相談ください。私たち薬剤師も薬学的サポートをします。まずはお薬の力を借りて、体調を整えていきましょう。

ところで「お薬手帳」はご存知ですか？他の医療機関の薬を飲んでいる方は、薬の飲み合わせを確認しますので、ご提示ください。また、通院は当院のみの方でも、他院受診や緊急時の際に、服用している薬が記載されているので便利です。お待ちでない方にはお渡しします。ぜひご活用ください。

病院理念



一人でも多くの人を笑顔にする
(笑顔を取り戻してもらう)

安全と信頼

私たちは常に専門的知識と技術の向上に努め、地域に信頼され、安全で質の高い医療・介護・福祉を提供することを心がけます。

真心と誠意

私たちは一人ひとりの皆様との出会いを大切に、真心と誠意をもって皆様の健康な心身づくりに努めます。

病院基本方針

1. 私たちは地域に信頼され、必要とされる医療機関をめざします。
2. 私たちは患者様との出会いを大切に、患者様の心身を真心をもって癒やします。
3. 私たちは専門職として、それぞれの分野で知識・技術を磨き、チーム医療の質の向上に努めます。
4. 私たちは患者様の自由・権利・人間性を尊重します。
5. 私たちは患者様が社会人として地域の中で生活を送れるように支援します。

患者様の権利

患者様は、適切な医療を受け、安心して療養に専念することができるよう、次の権利を有しています。

1. 個人として、その人格を尊重される権利
2. 自分の受けている治療について知る権利
3. 状態に応じた適切な治療について知る権利
4. 自分の意見表明や自己決定できる援助を受ける権利
5. 公平で差別されない医療及び対応を受ける権利
6. 通信・面会の権利
7. 退院請求及び処遇改善を申し立てる権利
8. 開放的、明るい、清潔、落ち着ける環境で治療を受ける権利
9. 最小の制限のもとで治療を受ける権利

編集後記

「来年の今頃はコロナ終息しているといいね。」と毎日のように聞かれます。その後に「去年も同じことを言ってたよね。」と…。今年の終わりもみえてきました。来年こそ、終息しますように！

発行日:2021年11月

編集 :石狩ファミリアホスピタル広報委員会

発行 :医療法人天公会石狩ファミリアホスピタル

〒061-3207 石狩市花川南7条5丁目5番地

Tel (0133)73-5201 Fax(0133)73-8932

診療科目:精神科・心療内科・児童精神科

ホームページ:<http://tenkohkai.or.jp>